

1日目 6月4日 術 チュートリアルセミナー会場 中ホール 13:00開場 13:30-15:00 チュートリアルセッション 「AI-Powered Document Authoring in Clinical Research」 Abhishek Patil (PPD) clinical research business of Thermo Fisher Scientific

2日目 6月5日 術 A会場 中ホール B会場 第2会議室 C会場 第1会議室 9:20開場 9:50-10:00 開会式 午前1A 学生研究発表セッション1 午前1B 学生研究発表セッション2 午前1C 学生研究発表セッション3 10:00-11:40 2 作用素学習を用いた関数型自己回帰モデルの予測 3 平面フロアマップからの3次元擬似点群データ生成による屋内環境での自己位置推定 4 ウェーハ欠陥パターンの数理モデリングによる少数欠陥下での混合欠陥高精度分類モデルの開発 5 計測点最適化に基づく高精度面内分布推定アルゴリズムの開発 7 Bayesian Computation for Mixture of Finite Mixtures 19 clustered lassoに基づく非対称非線形データのための多次元展開法 20 状態空間モデルを用いた日本国内トラック輸送量の外部要因の定量的把握 23 経時的因果効果に対するANOVA的解析 32 右衛門切りの下の小標本群研究における制限付き平均生存時間の信頼区間: 変換法とブートストラップ法のモンテカルロ比較 34 対称性を考慮したk-meansクラスターリングに対する代数的アルゴリズムの開発 38 空間符号に基づくフィン不变な群逐次検定 40 β-MANOVA行列の最大・最小固有値の分布について 47 歩行データ統合における関数型自己回帰型バイアス補正の有効性評価 48 時間依存性共変量を伴う区間打ち切り生存時間データに対する平滑化ベイズライン比例ハザードモデル 49 ランダム傾きを含むマルチレベル構造方程式モデルにおける変分ベイズ法加藤(東京大学) 11:40-11:50 ソフトウェア・デモセッション 52 汎用シミュレーションシステム S4 Simulation System~人流シミュレーションへの活用を中心に紹介~ 嶋田佳明(株式会社NITデータ処理システム)

2日目 6月5日 術 11:50-13:00 昼休み 13:00-14:00 特別講演1 オーガナイザー:五十川直樹(ユニバーシティジャパン株式会社) 座長:渡辺敏彦(日本CRO協会) 南部鉄器の今、そしてこれから 八重樫 亮(株式会社 岩崎) 14:10-15:10 特別講演2 オーガナイザー:五十川直樹(ユニバーシティジャパン株式会社) 座長:Mike Branson (UCB S.A.) 28 Enhancing Clinical Development Decisions Through Integrated Stage-Gate and Quantitative Evidence Approaches Gustaf Rydevik(UCB S.A.) 午後1A スタディグループセッション「小標本医学データの解析における諸問題への対処」オーガナイザー:座長:丸尾和司(筑波大学) 14 決定木による層別とランダム効果解析に基づく推論 8 母集団で欠測パターンが異なる高次元データに対する平均の検定 山田隆行(京都女子大学), 姫野由人(滋賀大学) 27 非ランダムな欠測下におけるMMRM法の利用について 丸尾和司, 石井亮太(筑波大学) 11 Bayesian ICA for Causal Discovery 鈴木進(追手門学院大学) 43 部分集団特定手法SIDESにおける二段階p値に基づく多重性調整 石南栞, 石井亮太(筑波大学), 五十川直樹(ユニバーシティジャパン株式会社), 丸尾和司, 五西正彦(筑波大学) 29 連続型確率分布の疑似乱数生成と局所一様性2 中村永友(札幌学院大学), 土屋高宏(城西大学) 45 Statistical method for confirming error acceptable level at sampling SDV 乗原望, 五十川直樹(ユニバーシティジャパン株式会社), Mickael DeBacker(UCB S.A.) 46 球形検定におけるRoy 統計量の精密分布とその検出力の数値実験について 岩崎拓海, 清水康希, 横口博樹(東京理科大学) 44 外部対照を用いた単群試験におけるCovariate Adaptive Enrollmentの適用 吉田哲(アステラス製薬株式会社), Jiahui Xin(Renmin University of China), Zhiyue Huang(Astellas China Innovation Research & Development Center) 16:50-17:50 表彰式・総会 18:30- 懇親会 (会場:じよ居)

3日目 6月6日 術 9:30開場 9:50-10:50 企画セッション「医薬品開発へのRWDの活用」オーガナイザー:座長:河合健介(ファイザーR&D合同会社) 39 がん領域におけるRWDが拓く臨床開発の加速 -レギュラトリー活用-の現在地~ 田島絵里(フラットファインヘルス株式会社) 15 DuckDB と R による DataHub データの探索的財務ビッグデータ解析 -上場企業の場合- 地道正行(関西学院大学), 宮本大輔(政策研究大学), 阪智香, 永田修一(関西学院大学) 51 リアルワールドデータを用いたエビデンス創出 -REALISE研究からの示唆- 三角俊裕(国立がん研究センター東病院) 1 A Weighted Approach to Estimation under Structural Evolution 島田裕作(岩手県立大学) 9 規制当局の視点からみたRWDの利活用 田中清士郎(独立行政法人医薬品医療機器総合機構) 30 半正定値制約付き同時対応分析 秋野道達(大学) 11:00-12:00 午後2B スタディグループセッション「データカフェ」オーガナイザー:座長:山本義郎(東海大学) 17 マルチビジュアルクラスタリングによる書籍のPOSデータに基づいた書店特長の検出 池島颯太, 赤塚原希, 齊藤史哲(青山学院大学) 33 Stiefel多様体の極限定理に基づく準調欠測データに対する多変量正規性検定 清水康希, 岩下登志也(東京理科大学), Bernhard Klar(カールスルーエ工科大学) 41 本の価値に基づく意思決定 西村健一, 南部和希, 森純平, 山本由和(徳島文理大学) 37 グループ化円周データに対する改良Rao型一様性検定とその応用 木下慶紀(中央大学), 藤嶋倫(昭和女子大学), 鎌倉裕成(中央大学) 50 デザイン思考とデータ活用統合スキルに関する測定尺度の検討 竹内光悦(実践女子大学) 12:00-13:00 昼休み 13:00-14:20 午後1B 一般セッション5 座長:下川敏雄(和歌山県立医科大学) 12 コピュラに基づく原因別ハザードモデルの推定量の比較について 小田哲九郎, 下川朝有(東京理科大学) 24 CRAIに統計の本質をどう伝えるか -「そこら統計」によるCRA向け統計教育の実践- 阪本浩一(シミック株式会社), 設楽俊也(IQVIAサービシズジャパン合同会社), 中野知夫(イービーエス株式会社), 乙黒俊也(ClinChoice株式会社), 渡辺敏彦(日本CRO協会) 21 Kaplan-Meier曲線の統合による生存時間メタアナリシス 花田圭佑(和歌山県立医科大学) 26 Excel, R, Pythonにおけるヒストグラム作成法に関する比較分析-生成アルゴリズムとビニング設定- 山本けい子(函館工業高等専門学校), 青藤実祥(金城大学), 寒河江雅彦(金城大学, 金沢大学) 22 欠測を伴う潜在クラス分析の推定アルゴリズムの効率化 黒田正博(関西学院大学) 35 分位点関数の形状と入力依存性を分離した回帰モデルと植物成長予測への応用 岩山幸治(滋賀大学), 平尾健二(福岡教育大学), 藤川健三(弘前大学), 鎌田英一郎(長崎大学), 出口哲久(北海道教育大学), 日野原謙(ブランドイオ株式会社), 森太郎(滋賀大学) 25 Multiple Imputationによる欠測補完後の層共通割合差の信頼区間の検討 古賀優一, 金水龍(エイソーヘルスマテック株式会社) 42 異質性治療効果推定のためのFederated Rule Ensemble法の提案 万可(和歌山県立医科大学), 谷岡健真(同志社大学), 下川敏雄(和歌山県立医科大学) 14:30-15:50 午後2B 一般セッション7 座長:藤澤正樹(あすか製薬株式会社) 10 臨床試験においてベイズ因子を逐次利用する方法 佐々木天道, 横田航(北海道大学) 13 A Dichotomized Copula Approach for Multi-Arm Principal Stratification Without Monotonicity Assumption 水間浩太郎, 黒田晋吾, 作井将(武田薬品工業株式会社), 折原準一郎(東京医科大学), 橋本隆正(武田薬品工業株式会社) 16 リサンプリング手法を用いた半教師あり学習による不均衡データの分類 齊藤光法, 齊藤史哲(青山学院大学) 18 インパクト指標に依存しないデータ駆動型アプローチによる研究活動の構造的学際性可視化フレームワーク 満田ひろか, 本多啓介(統計数理研究所), 山本義郎(東海大学) 閉会式 15:50-